

# タカサゴシラタマ

か めい  
科名 マタタビ

べつ めい  
別名

がくめい  
学名 *Saurauia tristyla*



く ぶん  
区 分 もくほんるい  
木本類

ぶん ぶ  
分 布 いろおもてじま いしがきじま  
西表島、石垣島

は かたち  
葉 の 形 ちょうだえんけい  
長楕円形

は ぶち  
葉 の 縁 きよし  
鋸歯

は さき  
葉 の 先 えいせんけい  
鋭尖形

は しゆるい たんよう  
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい  
葉 の 付方 互生

は きぶ えんけい  
葉 の 基部 円形

み しゆるい えきか  
実 の 種類 液果

はな がくいろ しろいろ あわ ももいろ  
花・萼色 白色、淡い桃色

せつ せい  
めい 明  
山野に生育し、高さ5mに達する小高木で、小枝には剛毛があります。葉は互生し長楕円形などで長さ10-30cm、幅4-11cmです。葉の縁は刺状の鋸歯があり、両面とも褐色の毛が生えています。花は枝の葉腋の跡から白色または淡い桃色で径1-1.5cm、1個から4個集まって咲きます。実は液果の球形で径約1cm、白色に熟します。